

## 労働図書館新着情報

## 今月の図書紹介

86

<p>①橋本俊詔著『日本人と経済』東洋経済新報社 (xiv+318+10頁, 四六判)</p> <p>本書は、日本が近代化を達成した明治時代以降の期間に注目する。教育と社会保障制度も含めて、この間の労働者、生活者としての日本人の実情を分析するのが主な目的である。特に関心を払っているのが女性に関する問題。戦前は多数の女性が働いていたものの、戦後は専業主婦がやや増加し、最近では再び既婚女性が働く比率が上昇、今後について男性は労働者、女性は生活者という区分はなくなると予測する。さらに、企業と労働者の行動様式を、経済学的論理で解釈するとともに、働き方にまつわる諸制度に着目し、制度に対する政府の役割も評価。経済成長と平等性の関係にも言及する幅の広い著作である。労働経済学の大家が、労働・生活の視点から日本経済論を世に問うた。</p>	<p>③森岡孝二著『雇用身分社会』岩波書店 (iv+240+7頁, 新書判)</p> <p>いまや日本は、パート、派遣労働者などの非正規労働者が全労働者の4割以上を占めている。こうした状況が労働者間の競争を強め、グローバル化の圧力と相まって、正社員の労働条件を悪化させ、労働基準法無視の労働者酷使が拡大した、と著者は述べる。日本ではここ30年の間、雇用形態の多様化に伴い、企業内の雇用の階層構造も分裂。パートは賞与なし、昇給なしの低時給で雇用される身分となり、派遣労働者はいつでも切られる立場。正社員は時間の鎖に縛られて「奴隷」的に働くか、リストラされて労働市場を漂流する身分となったとする。ディーセントワークを追求する著者は、派遣労働の規制や最低賃金の大幅引き上げなど、「雇用身分社会」から抜け出す道筋を模索。</p>
<p>②マーティン・フォード著『ロボットの脅威』日本経済新聞出版社 (409頁, 四六判)</p> <p>著者は、技術の進歩が加速し自動化が進めば、必要とされる人間は限られると強調。ルーティンで予測可能な仕事、例えば、法律家やオフィスワーカー、コンピュータプログラマーでさえもロボットに代替されると警鐘を鳴らす。こうしたプロセスが続けば、労働者階層と中間層の家庭は苦境に立たされ、同時に家計は、教育と医療・健康費の高騰に見舞われると見通す。その結果生じるのは大規模な失業と不平等であり、生産性向上と賃金上昇の共生関係は崩壊する。長期失業者の増大や労働力率の低下も含めて、これらの状況の解決には、テクノロジーの進歩が雇用と所得の分配にどのような意味合いをもつかを認識し、適応することだという。著者はシリコンバレーの起業家。</p>	<p>④中澤誠著『ルボ過労社会』筑摩書房 (254頁, 新書判)</p> <p>著者は「日本の職場は、ラフプレーだらけのサッカーのようだ」と強調する。過労死やサービス残業、パワハラなどピッチのあちこちでルール違反が発生。審判の笛が鳴ってもお構いなし。本書は近年、規制緩和が進み、非正規雇用が拡大する一方、職場環境は劣化し、長時間労働や違法労働が横行していると力説する。このうえ、さらなる規制緩和は本当に必要なのか、との見方を示す。3年にわたる緻密な取材をもとに「働きすぎの日本人」の実態を検証しながら、改正労働基準法などの規制緩和の実情をレポート。副題は「8時間労働は岩盤規制か」。「成果」ではなく「生きがい」に重点を置く職場構築を目指し、長時間労働に依存した働き方こそ穴を開けるべき岩盤だと主張する。</p>

(日本十進分類[NDC]順に掲載)

## 主な受け入れ図書

(2015年10—11月労働図書館受け入れ)

- |   |   |
|---|---|
| ⑤藤山浩著「田園回帰1%戦略」農山漁村文化協会(231頁, A5判)                  | ⑩田中健一他編著「大人の発達障害と就労支援・雇用の実務」日本法令(253頁, A5判)           |
| ⑥大村大次郎著「会社に使い捨てされない法律とお金の心得」双葉社(191頁, 新書判)          | ⑪HOPEプロジェクト+CSRプロジェクト編「がん経験者のための就活ブック」合同出版(135頁, A5判) |
| ⑦経団連出版編「人事の潮流:人と組織の未来像」経団連出版(211頁, 四六判)             | ⑫一田憲子著「「私らしく」働くこと」マイナビ(157頁, A5判)                     |
| ⑧小島典明著「労働法改革は現場に学べ! : これからの雇用・労働法制」労働新聞社(215頁, 新書判) | ⑬奥田絵美著「新しいママの働き方」アチーブメント出版(269頁, 四六判)                 |
| ⑨熊谷謙一著「アジアの労使関係と労働法」日本生産性本部生産性労働情報センター(179頁, A5判)   | ⑭孔枝泳著「椅子取りゲーム」大月書店(235頁, 四六判)                         |

労働図書館(資料センター) <http://www.jil.go.jp/lib/index.html>

当図書館は、社会科学関係書を中心に和書115,000冊、洋書30,000冊、和洋の製本雑誌25,000冊を所蔵している日本有数の労働関係の専門図書館です。

労働関係の分野には、労働法、労働経済、労働運動、雇用職業、女性労働、パート派遣、高齢者労働、障害者労働、外国人労働、社会福祉などがあり、これらで、蔵書の半数以上を占めています。このほかにも、経済書をはじめ経営学、心理学、教育学、社会学など関係分野に及んでいます。また、和雑誌(285種)、洋雑誌(120種)、紀要(510種)、組合機関誌・紙を受け入れています。

特色としては、厚生労働省をはじめとする官公庁発行の統計類などの逐次刊行物、経団連など経営者団体の刊行物や民間研究機関刊行物、社史があり、労働組合に関しては、労働運動史、ナショナルセンターや産業別組合の大会資料などを継続的に収集しています。洋書については、特にILO(国際労働機関)総会の議事録やOECD(経済協力開発機構)の刊行物、各国政府の労働統計書などを収集して閲覧に供しています。特殊コレクションとしては、戦前・戦後を通して歴史的に貴重な労働組合の原資料を収集、提供しています。

所在地: 〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23

開館時間: 9:30 ~ 17:00

休館日: 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12月28日~1月4日)、その他

電話番号: 03(5991)5032 / FAX: 03(5991)5659

利用資格: どなたでもご自由にご利用できます

貸出: 和書・洋書とも2週間、5冊までです

※身分証明書(運転免許証、健康保険証など)をお持ちください

レファレンス・サービス: 図書資料の所在調査などのサービスを行っています

